

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



世界に希望を生み出そう

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2023年10月26日 第3568回例会

会長 足立 誠 会長エレクト 佐々木久直
幹事 富田 隆裕 副幹事 鶴飼 雅弘
副会長 山上 哲司 会報委員長 野村 和弘

プログラム
イニシエーションスピーチ
森 大介君
テーマ「自己紹介」
永井一人君
テーマ「自己紹介」

ロータリーソング「それでこそロータリー」

第3567回例会の記録
2023年10月12日(木)

会長挨拶

足立 誠

本日の例会は、尾西ロータリークラブと一宮ロータリークラブの合同で、第2760地区2023-24年度ガバナー酒井法丈氏の公式訪問を頂いたものであります。

RI 2023-24年度会長ゴードンR. マッキナリー氏は、標語に“Create hope in the world”を掲げ、さらに本日お越しの地区ガバナー酒井氏は、「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」を標語に掲げられ、2023-24年度地区の会長84名が、エレクトセミナーで直接レクチャーを受け、それはガバナーの熱い思いの伝わるものでした。

本日私たち2クラブに、酒井法丈ガバナーのその熱い思いを伝えて頂けたら幸いです。

委員会報告

ロータリーの友10月号

佐藤博之

横組み7頁、若者の自立促す支援のカタチ
保護者や行政などから適切な養育が受けられず、貧困に陥る若者がいて、児童養護施設退所と同時に社会に放り出されることになる若者に対し必要な支援を提供し、自立の手助けをすることは、まさに地域社会の経済発展にとって重要なことです。児童養護施設の子供たちの多くは18歳になり、高校を卒業すると施設を出ます。その後は就職、進学にかかわらず、自立が求められます。

次回の予定

インターアクト活動報告
大成中学高等学校IAC

4割は進学し奨学金を受けますが、学費は賄えても日々の生活費は働いて得なければならず進学しても学業とアルバイトの両立に耐えなければならぬとの理由で2割が中退していきます。

就職しても、高校卒業時にまでにやりたいことが見つからなかった若者たちは、仕事の内容よりも住み込みで働ける会社といった条件優先で就職活動を行う場合が多く、入社後にやりがいを感じられないなどのミスマッチに発展し早期退職に至り易くなります。中退や早期退職が起きてしまうと以降、正社員としての難易度が上がり、結果的に多くの施設出身者が非正規雇用、不安定な収入生活に陥ることになり、いわゆる「ワーキングプア」になってしまいます。NPO法人フェアスタートサポートがこの問題の解決に向けた支援を行っており、「就職先として、社会奉仕への思いが強く、職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりであるロータリーの企業は親和性が高い」とのコメントがあり、ロータリークラブとしての支援が可能であると考えます。

15頁、第3回米山学友世界大会(8月5日)世界38か国から茨城県つくばに集結。次回(第4回)は26年6月に台湾で開催。

縦組み4頁企業による障害者雇用の取り組み。すでに取り組みされている企業もたくさんありますが、初めて、あるいはこれから取り組もうとされている皆さま向けのお話です。雇用はどこから？何からスタートすればいいのか？が記載されています。

ニコボックス

原 正則

☆ 酒井法丈君 杉浦敏夫君 廣部智映君
(豊田RC)

本日ガバナー公式訪問で伺わせていただきました。よろしくお願ひ致します。

☆ 則竹伸也君 桑原英寿君

本日は尾西・一宮RC合同ガバナー公式訪問に国際ロータリー第2760地区2023-2024年度ガバナー・酒井法丈様、地区幹事・杉浦敏夫様をお迎えした喜びで。

☆ 足立 誠君 富田隆裕君

本日、国際ロータリー第2760地区、酒井法丈ガバナー、杉浦敏夫地区幹事、廣部智映地区スタッフにお越しいただきありがとうございます。酒井ガバナーより卓話を頂ける喜びで。

出席報告

ビジター出席数	3名
現在の会員数	111名
本日の出席数	81名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2760地区

2023-24年度ガバナー

酒井 法丈君(豊田RC)



RI 会長 ゴードン R. マッキナリー氏 メッセージ

深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができますようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。

平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をする事で得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮立たせてくれることでしょう。

素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

酒井私見「言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができ、入会候補者もロータリーに関心をもってくれる。」

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

RI の重点事項

- ① ポリオプラスプログラム
- ② メンタルヘルス
- ③ 女児のエンパワメント

ビジョン声明から DEI について

自身の中での「ロータリー像」について問いかけます。

- ① なぜロータリークラブに入会しましたか？
- ② ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？

③ ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？

④ なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？

⑤ あなたのクラブを代表する活動は何ですか？以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

ビジョン声明

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」ビジョン達成のための行動計画

I より大きなインパクトをもたらす

II 参加者の基盤を広げる

III 参加者の積極的なかわりを促す

IV 適応力を高める

この I から IV までの行動計画は皆さんに問いかけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。

I は⑤に、II は①②に、III は③に、IV は④につながります。

I のインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。

II の基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。

III の積極的なかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。

IV の適応力を高めるには、日常では得ることのない価値観、事象に触れましょう。

DEI (多様性、公平さ、インクルージョン)

多様性は、ロータリー創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要

公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうか鍵となる

インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる

プライド、ブランドとは

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。

よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

お願い

- 1、ロータリー財団への寄付
- 2、地区大会への参加
- 3、RFF (ロータリー・フード・フェスティバル) への積極的な参加 (チケット・企業協賛)
- 4、世界大会でのガバナーナイトへの参加

